

総務産建

6月15日午後1時30分から開催

主な審査項目

功労者表彰条例の改正

農業委員会に関する条例制定

平成28年度一般会計補正予算

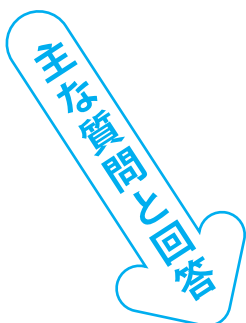
● 地区集会所設置補助金(改修工事) 27万円

● 財政調整積立金 941万円

● スマートインターチェンジ 50万円

● 建設基金積立金 3500万円

● 地方創生事業 3500万円



Q 今まで農業委員の選出方法は選挙でしたが、今回の条例制定で公募あるいは推薦の形になりますか、どのような背景がありましたか。

産業振興課長 農業委員会法の改正によるものです。

Q 農業委員の選出方法は、どのようになりますか。

産業振興課長 今回の法改正は、農地利用の最適化・集約化・耕作放棄地の発生防止等を重点においたものです。従来を選出には、団体推薦(議会・土地改良区・農協等)がありました。

今回より必須ではなく、任意によるものとして取り扱います。応募方法は自薦、他薦(二人の推薦に基づく)、あとは団体推薦です。

定員(14名)を超えましたら、選考方法は規則に基づいて、選考委員会(5人)で協議します。最終的に町長が議会の同意を得て任命します。

Q 法改正により条例で定めるのは、委員の定数だけですか。選考方法等は規則で定めるのですか。

産業振興課長 定数は条例で定め、委員会の組織及び運営に必要な事項は規則で定めます。

Q 補正予算にある地方創生事業に基づいた、調査・分析等が行われるが、町として目指す方向は？

企画調整課長 今回の地方創生事業では、当町はスマートIC周辺のまちづくりに絞っています。この地域に日本の次世代産業を企業誘致して、雇用を創出するとともに、都市部に集中する学生たちを取り込むことで、人口と税収の増加を目指すし、まちの活性化を図ります。また、工場見学から製造体験まで行える企業を誘致することにより、更に活気あふれる、魅力あるまちを目指していきます。

Q 補正予算にある地方創生事業に基づいた、調査・分析等が行われるが、町として目指す方向は？

企画調整課長 今回の地方創生事業では、当町はスマートIC周辺のまちづくりに絞っています。この地域に日本の次世代産業を企業誘致して、雇用を創出するとともに、都市部に集中する学生たちを取り込むことで、人口と税収の増加を目指すし、まちの活性化を図ります。また、工場見学から製造体験まで行える企業を誘致することにより、更に活気あふれる、魅力あるまちを目指していきます。



平成27年度に経営体育成支援事業の補助金を受けて整備された、「むすぶ農園」のトマトハウスを視察しました